

新たな旅立ちの一步を踏み出してー。

日野学園で卒業式



◀卒業生代表の川上さん



3月8日、日野学園で卒業式が行われ、13人の生徒が新たな門出を迎えました。

義務教育学校日野学園となつてから始めての卒業式。卒業生代表の川上柊斗さんは、在校生に向け「皆さんなら、始まったばかりの日野学園をさらにすばらしい学園にできると思います」と、答辞を述べました。

最後は全校児童生徒がアーチを作り、卒業生を明るく送り出しました。



鮮やかに咲き誇るミチノクフクジュソウ

3月30日と31日の2日間、中菅地区で、福寿草ミニミニ観察会（福寿草を守る会主催）が開かれました。ミチノクフクジュソウは、鳥取県では固体数が少ないため、特定希少野生動植物に指定されています。中菅地区は県内で一番大きな自生地で、鮮やかな黄色の花を見ることが出来ます。30日には、晴れ晴れとした青空の中、大山自然歴史館の矢田貝繁明さんの解説会も開催。参加した人たちははめずらしい花に癒されながら、思い思いにミチノクフクジュソウを観察していました。

福寿草ミニミニ観察会
希少で鮮やかな黄色の花々



小説にかけた思いを語る松本さん

3月17日、町文化センターで、小説『火口に立つ。』出版記念フォーラム in HINO（小説「生田長江」を出版する会主催）が開かれました。フォーラムでは「私たちの『今』と生田長江」をテーマに、著者の松本薫さんが執筆の背景を語ったほか、まるやまかよこさんによるミニライブなどが行われました。また、フォーラムの前には、山村開発センターで、小説に登場する「リバティ食堂」を1日限りで再現。小説内に登場するカレーやコロッケが振る舞われ、来場者の舌を楽しませていました。

生田長江を知ってもらうために
小説『火口に立つ。』出版記念フォーラム in HINO



日本海新聞ふるさと大賞 2023 表彰式

黒坂地区の活性化、ソフトテニス振興をたたえる



《スポーツ文化功労賞》 長谷部 正人さん

黒坂ジュニアソフトテニスクラブの指導者として青少年育成に励み、児童を全国大会出場に導きました。現在も日野郡ソフトテニス協会の会長、鳥取県ソフトテニス連盟の役員を務め、地域のみならず、全県にわたってソフトテニス振興に寄与されました。



《地域貢献賞》 黒坂フェスタの会

町なかの空き地・空き家や旧黒坂小学校を活用し、毎月さまざまなイベントを開催。町外からも多くの参加者が集い、リピーターが運営に参加するなど、関係人口を創出しました。また、日野高校生の地域活動チームみらいずのサポートなど、新たな住民団体の活動参加を促し、黒坂地区の活性化に貢献しました。

県内の地域発展やスポーツ振興に功績のあった人を表彰する、日本海新聞ふるさと大賞・日野町の部の表彰式が、3月25日、町役場で行われました。今回は、地域貢献賞に黒坂フェスタの会（梅林敏彦代表）の皆さんが、スポーツ文化功労賞に長谷部正人さん（黒坂）の2組が選ばれ、賞状と記念品が贈られました。

集落支援員 だより

SASAKI RYOUMEI
佐々木 良明

担当地区：菅福



11月11日にお披露目した「味噌だれ」。これを使用した「牛すじ味噌おでん」の試食会を、3月5日に行いました。

前日から2.5kgの牛すじの塊をさばいてよごれを洗い流し、あくをとりながら90分下ゆで。元気邑のこんにやくと近所の方からいただいた大根を加えて煮込みました。

「一味をかけたらもっとおいしいぞ」「ゴホゴホ！かけすぎたわ」とにぎやかな笑い声が絶えませんでした。「牛すじがやわらかくて感動した」「優しい味でよかった」との声が多数でしたが、「牛すじの味がもう少し濃くても」と言った感想もあり、今後改良を加えながら「菅福の味」にしていきます。

お手伝いしていただいた皆さん、本当にありがとうございました。



地元のシイタケ農家さんで収穫体験！

町外、県外の人も多く関わり、地元の人や参加者同士の交流が行われ、大変盛り上がりました。多くの交流の輪が広がったイベントになりました。

今回は、鉄道写真の展示や鉄道ファンの自作グッズの販売など、鉄道好きも楽しめる企画が盛り込まれました。その他にも、シイタケ収穫体験、キッチンカーの出店など、普段よりも規模の大きいイベントに。町外からも多数の出席者が参加していました。

町内外へ、つながり広がる「縁」の輪
黒坂フェスタ「ネウクロ文化祭」

3月17日、黒坂フェスタ「ネウクロ文化祭」が、旧黒坂小学校で行われました。